

広 報



ふじがわ

1 月 号

昭和56年 1 月 20 日 発行

No. 234

町 の メ モ

昭和56年 1 月 1 日 現在

人 口	16,998人
増 減	- 5人
男	8,441人
女	8,557人
世帯数	4,281世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



またバイパスが一部開通

(表紙のことばは2ページに)

みなさんと英知を出し合い 21世紀を展望した 町づくりを



昭和56年の輝かしい新春を迎え、謹んで心からお慶びを申しあげます。

昨年の国内外の情勢は、非常に厳しいものであります。特に国政においては、安定経済指向のなかで衆・参同時選挙が行われ、国民の政治への選択がなされ、政治倫理の確立と綱紀の粛正・行政改革・財政再建の三点を緊急の課題として、各々、対処しております。ことは周知のとおりであります。

当町をとりまく環境も、非常に厳しいものがありますが、昭和55年を振り返ってみますと、5月には住民登録人口が一万七千人を突破し、昨年10月の国勢調査においては、対昭和50年に比べ、二・九割(約五百人)の伸びを示し、庵原郡において富士川町のみが上昇し、基本計画にもとずいた人口推移がなされております。

事業の執行状況ですが、二小プールの竣工、吉津―小山線・上町―吉津線の供用開始、県道バイパス大北地先の開通、南松野―室野間の農免道路、野田山への公共間伐林道の開設、新町都市下水路な

あけまして
おめでとつございませす

富士川町長 常葉雅文

どの継続事業の執行、松野児童館の建設、簡易老人憩いの家の完成その他生活関連事業など、順調に執行されており、ひとえに、議員をはじめ町民のみなさんのご支援ご理解に深く感謝する次第です。さて、心新たに西年の新年を迎え、二十一世紀を展望すべき町づくりに、町民のみなさんとともに英知を出し合って、着実にその施策の遂行に努力していく覚悟であります。

現在、昭和56年度の予算編成にあたってありますが、財政の健全化を基本姿勢としながら、昭和60年を目標とした、基本計画にもとずいた主要事業の推進と、町民のみなさんのニーズに対処できる諸事業を把握し、施策に反映していく所在であります。共立浦原総合病院の大築造への移転改築、県企業局による中野台地への優良宅地の開発、大平地先への高等教育施設(短大)などの関連事業には、為政者として「ベストを尽くしてベターを実現する」姿勢で対処してまいりたいと考えています。野田山健康緑地公園事業の本格的推

進、また、富士川橋を中心とした交通体系・生活基幹道路としての立体的機能確立のため、引き続き県道富士川―身延線バイパスの点から線への建設促進、町道バイパスの建設促進、老朽化した富士川橋架替促進などに全力を傾けたいと思っております。

私の読んだ本にこんな言葉がありました。「時の流れの中に正月が毎年やって来るのは、人間の定めた約束ごとである。―人間は情性に流されるもので、一年を区切って新年を定め、心を新たにすするよすがとした。それは人間が、おのれの愚かさを知って、いれぼその賢い知恵であろう」と。私たちが新年に心新たにすることも、戒めのためであるうかと思いを、戒めのためであるうかと思いを、戒めのためであるうかと思いを、

年頭にあたり、健康で明るいご家庭のご多幸をお祈り申し上げるとともに、私は自らに課した厳しい課題に向けて全力を尽くす決意を新たにいたしました。一層のご支援とご協力をお願いして、ごあいさつといたします。

表紙のことは

県が昭和48年から進めている主要地方道、県道富士川―身延線バイパスの建設工事は、松野工区のうち大北―蓬来橋間の延長七百メートルが完成し、12月20日に供用開始された。この開通により富士宮、芝川両方面へ向う車輻は、直接バイパスに乗り入れることになり、北松野地区の現道における交通量が一部緩和されることとなる。当日は、午前11時から県・町・協力的地主などのみなさんが出席し、開通式を行い、通り初めの後、一般供用開始となった。なお、このバイパスは、地域住民のみなさんの要望に答えるため、全線の開通を目指し、用地および道路建設を今後とも押し進めていくことになっている。



吉田志かさん (87)

わしゃあこの辺じゃあ(大北)一番年寄りだけんど、わしが生きてる間に、こんな立派な道ができるとは、夢にも思わなかっただよ。

町当局への 協調と監視

富士川町議会議長 箕 武司



各種団体初行事への議長出席職務を一応果たしますと、正月も上旬を過ぎ、いよいよ議会も新年に向けて精力的な活動に入ります。

はつきりした日程だけでも、次のようになるでしょう。

- 20日 建設常任委員会第一回協議会
- 21日 厚生常任委員会第一回協議会
- 23日 第一回総務常任委員会
- 総務常任委員会第一回協議会
- 28日 第一回全員協議会

これに、まだ日程の決まらない各特別委員会が加わってきます。

委員会開催 なぜ多いのか

町に課題が山積しているからです。住民みなさんからの要望もあ

りましょうし、町将来の発展を推進するために必要な施策からくるものもあります。

町当局はこうしたものの解決を目指して執行を進めていますが、その過程で委員会審議を必要とします。委員会や全員協議会の開催回数が増えるわけです。今年も、町当局・議会は多忙を極めるでしょう。

みなさんの要望、町の生活環境整備のため、町当局と協調して町政を進めていきたいと考えております。―が、また反面、議会にはもう一つの大きな使命「当局の行政執行を監視する任務」これがありますので、そのへんは今まで同様、今後も一線を画し、是非でまいます。みなさんの議会に寄せられる信頼は、まさにこの点にあるからです。

議会への窓口

―陳情―

先ほどの日程にありました「第一回総務常任委員会」これは12月定例会から案件審査を付託されて

いる正式委員会です、陳情二件の審査が行われます。

このようにみなさんから議会へ提出される陳情(請願)署名議員が必要)は、本会議を経て所管委員会に審査が付託され、委員会の「採択」「不採択」の結論が、また本会議に委員長報告され、本会議で正式な結論付けとなつてみなさんに通知されます。

芙蓉(議会広報紙)をお読みの方にはよくご理解いただけるかと思いますが、みなさんの要望が文書化された「陳情」が議会へ出ますと、以上のように時間をかけた慎重な審査が行われ、公正な判断が下される仕組みになっていきます。これが、自分たちの公共性のある要望を実現させるために、もっとも正当な手続きなわけです。公共性のない個人的、私的な陳情ではむろん問題になりません。

また町当局だけへの陳情もありますが、それはあくまで町当局への陳情ですので、議会審査の対象にはなりません。

議員に

いつでも相談を

以上のようなことについて、あるいは町政について、議員はいつでも、みなさんとお話し合えます。妙な年頭の辞になりました。

新消防団長に 久保田敏男氏が就任

永年、富士川町消防団長として火災などの災害から町を守るため活躍された柳下寿男氏(相生町)は、昨年12月31日付けをもって団長職を辞任、同氏の後任に副団長の久保田敏男氏(清水町)が、本年1月1日付けで就任しました。

新団長となった久保田氏は、

大正14年1月1日生まれ、五十六歳。昭和21年に松野村消防団に入団(昭和22年に消防団に改組)班長、部長、分団長を歴任後、昭和45年に副団長となり、このたびの団長就任までには、団員通算三十五年、このうち副団長として十一年間、坪内、柳下副団長のよき補佐役とし、今日の町消防団を築き上げた功労者の一人です。久保田氏は団長就任にあたり「消防団のなごり層の強化・充実をはかり、無火災の町にするために努力していきたい」と、抱負を語っていました。



新団長 久保田敏男氏



前団長 柳下寿男氏

また昭和14年、富士川町消防団に入団以後、今回の退団まで四十二年間、消防一筋にご尽力された前団長の柳下氏に深く感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りします。

なお、久保田氏の団長就任により、町消防団の構成は次のようになります。

- 団本部 (敬称略)
- 団長 久保田敏男(清水町)
- 副団長 望月 敏雄(幸町)
- 米倉 秀雄(相生町)
- 本部長 井出 稔(南町二)
- 各分団
- 第一分団長 加茂 徳平
- 副分団長 五十嵐順信
- 第二分団長 原田 時夫
- 副分団長 前林 昭和
- 第三分団長 芦川 達雄
- 副分団長 芦川 清司
- 第四分団長 国本 定直
- 副分団長 望月 誠一
- 第五分団長 佐野 静嘉
- 副分団長 神戸与四郎

土地開発基金積立金と生活関連事業を主体に一億一千五百三十万円を補正

町議会の12月定例会は、12月23日(火)午後9時から議場で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和55年度一般会計補正予算、水道事業会計補正予算、土地取得特別会計補正予算、野田育英奨学基金条例の制定についてなど、十五議案が審議され、全て原案どおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、土地開発基金積立金、矢久保沢暗渠改修工事、生活関連事業などを中心に一億一千五百三十万円を補正これに要する経費は、町税、県支出金、地方交付税などを充当し、予算総額は二十二億五千五百万円となります。

常葉町長は、一般行政報告に入る前に「二十一世紀を展望すべき八〇年も早いもので、はや暮れようとしておりますが、国内外の情勢は、非常に厳しいものがあります。特に、国政においては、安定経済指向のなかで緊急の課題として、政治倫理の確立と綱記の粛正・行政改革・財政再建の三点をあげ、その対処については、みなさんご周知のとおりです。

交付税などを充当し、予算総額は二十二億五千五百万円となります。

一般行政報告

◎「シズオカヤ富士川店」の開店

日は昭和56年7月10日以降

第二種大規模小売店舗設置届出にかかる商業活動調整協議会における答申の状況ですが、6月から審議が続けられ、去る11月27日結審、答申がなされました。答申内容は、開店日→昭和56年7月10

以降、店舗面積→一千百平方メートル、閉店時刻→午後8時などです。

◎蒲原病院移転用地対策と、中野台地への県営団地造成にともなう対応は
それぞれの特別委員会においても対策が協議され、議員や町民のみなさんにも、その事業の遂行に

◎富士川河川緑地暫定計画「富士川」に
八百九十五万円

◎役員庁舎前の駐車場問題は
議員のみなさんに慎重なご協議もいただき、ご指摘をも受け、その対処は、建築・土木それぞれの専門機関に依頼し、あらゆる角度から検討し対応していきたいと思

を欠くことなく、信頼に与すべき町政を推進していく所存ですので

◎町の今年の目標は
町の今年の目標設定は、昭和44年から町民のみなさんの実行目標として始められ、昭和55年の「きれいな町にしましょう」は五カ年連続の目標でした。この目標により環境美化を中心に、みなさん

いきたいと考えています。

◎昭和56年度予算編成方針と実施計画のローリングについて

実施計画は、昭和55年度における予算に反映した事業の計画遂行状況・効果などを十分検討し、推進すべき主要事業を把握し、昭和56年度予算編成と併行し、向う三カ年の実施計画を策定すべき作業に入っています。

また、予算編成については、実施計画に基づく重点施策などを中心に、町民のみなさんの要望をも十分把握しながら効率的編成に心掛け、年間予算とする方針で、各課で要求資料を作成中です。

補正予算の内容

総務費に
三千三百三十七万円

◆国有地(岩淵字古谿一二期番地地先)購入費に 二百万円

◆農林業水産費に
一千六百九十三万円

◆温州みかん園転換促進事業費補助金に 三百二十七万円

◆農免農道新設工事(追加分)・平清水地内用水取入口改修工事費に 四百九十九万円

◆矢久保沢暗渠改修工事費に 三百九十五万円

◆吉津一金丸線開設工事・桑木穴足ヶ久保線改良工事・水ノ口治山関連水路工事費に 四百八十四万円

◆土木費に
一千六百八十一万円

◆中之郷地すべり補償費に 九十三万円

◆相生町通学路舗装工事費に 七十万円

◆富士川一蒲原線一取合工事・富士川右岸道路防じん舗装工事費に 百五十万円

◆幸町一大楽窪線用地取得費に 五百十三万円

◎主要地方道「県道富士川一身延線バイパス」建設促進状況は
12月20日、蓬来橋→大北間約七百メートルの供用開始は非常に喜ばしいものであり、先年の木鳥→馬坂間の供用とともにバイパス建設が点から線へ促進されてきました。今後は国一富士川橋架替促進とともに、交通体系・基幹道路としての立体的機能確保のため、早期全線開通に向け、建設促進を推進していく所存です。

◎一部事務組合の昭和56年度経費負担割合は

庵原郡環境衛生組合の負担割合ですが、ゴミ処理施設にかかる経常費分担率は、投入実績により決定することになっており、昭和56年度に対応する55年4月～11月の実績割合は、富士川町三〇・三七割、蒲原町四三・九六割、由比町二五・六七割となります。

また、庵原地区消防組合、蒲原病院組合、ひまわり学園などの分担割合・経費については、新年度予算審議において十分なる協議をお願いし、みなさんにご理解を得たいと思います。

◎富士川河川緑地暫定計画「富士川」に
八百九十五万円

◆古谿一旭町線幅用地代に 二百五十二万円

◆幸町一太楽窪線用地物件補償費に 八百九十五万円

◆古谿一旭町線幅物件補償費に 七十万円

◆河川改修工事にもなる水道管移設補償費に 百三十万円

◆都市下水道工事にもなる水道管移設補償費に 百万円

◆耐震性防火水槽築造工事(四十ト追加分・第二分団車庫出入口アスファルト布設工事・同分団車庫ホース干場取付工事費に 百万円

◆町育英奨学基金積立金に 二千万円

◆第一小学校体育館三階連絡通路屋根設置工事費に 二百十万円

◆第二小学校講堂解体費・非常階段新設工事費に二百六十七万円

◆さくら幼稚園補助金に 一千万円

◆中央工民館用地解体整地工事費に 百三十二万円

◆中央工民館建設費積立金に 百五十一万円

町への寄付金

(敬称略)
五万円 社会福祉事業費へ
大北町 望月 好幼

善意銀行へ寄託

55・8・1→12・31
八千円 旭町 渡辺 敏定
十万円 相生町 梅原 弥作
一万円 富士市 富 陽 軒
一千三百二十四円 木島木楽会老人クラブ
雑布二十枚

幸町幸和会老人クラブ

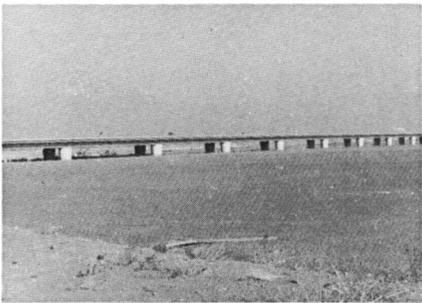
竹ぼうき百三十五本 富士見町 佐野 源五

あたたかい 善意銀行がとう

「みんなで明るいお正月を」をスローガンに、昨年12月いっぱい歳末たすけあい運動を行った結果総額百八十二万四千三百四十一円と多くの物品がみなさんから寄せられました。これらの募金の使い道は次のとおりです。

◆町外施設・施設入所者へ 四十七万円
◆町内低所得世帯・在宅障害者などへ 七十七万八千五百円
◆町内四団体・その他へ 五十七万五千八百四十一円

より広い緑地公園に



トリアにかけろ 私の夢抱負

サル年が去ると、次はトリア年。トリア年は、十二支の十番目の「酉(トリ)」にニワトリをあてはめたものです。

ニワトリと人間とのつき合いはきわめて古く、インドでは紀元前一七〇〇年ごろにはすでに家畜化され、その後各地に広まったといわれていますが、日本には中国、朝鮮半島を経て伝わり、有名な天の岩戸の神話にニワトリが登場していることはよく知られています。天照大神(あまてらすおおみかみ)が、岩戸にたてこもった時、ほかの神々が困ってしまい常世(とこよ)の長鳴鳥を鳴かせたりして、天照大神を岩戸から出そうとした話がそれです。ともあれ、今年はずから瞬を告げる霊鳥とされていたニワトリの年、私たちもこのニワトリになみ、今年一年、おおいに羽ばたこうではありませぬか。そこで、今日は町内のトリア年生まれのみなさんに登場してもらいました。

小泉若菜ちゃん(一小・五年)



私の一年間のほうふは、まず小学校最上級生なので、六年生をおくる会や一年生をむかえる会をしっかりとやって、最上級生らしいふるまいを、したいと思う。また、新しい学級委員が決るまで、自分の仕事をしっかりとやって、すこしでもクラスをよくできるようにしたい。クラスや学校のことだけでなく、自分では、もっとまじめになり、わがままをなくし、勉強では、体育をもっと自分としてはがんばって、勉強の習慣をつけたいと思う。それから、小学校生活の最後の一年なので、もっとなんでもぶつかっていきたくいです。口で言うのはらくでも、ほんとうに実行するといふことは、むずかしいので、むずかしいことは、むずかしいので、今年一年、なんでもアタックするような年でありたいです。

今年とり年。わたしにとって小学校生活最後の年であり、最上級生でもあります。三学期に入るとすぐ始まるマラソン大会。今年最初の目標をこれにあて、去年より一つでもその順位をあげられるように、がんばろうと思います。そのために学年で始めた日本一周マラソンが、大会までにゴールに着くようにがんばり、マラソン大会の目標を守るようにしたいです。また、子ども会や委員会と、せき任のある学年です。五年間で足りなかったことを、この一年にかけてみようと思います。



今年とり年。わたしにとって小学校生活最後の年であり、最上級生でもあります。三学期に入るとすぐ始まるマラソン大会。今年最初の目標をこれにあて、去年より一つでもその順位をあげられるように、がんばろうと思います。そのために学年で始めた日本一周マラソンが、大会までにゴールに着くようにがんばり、マラソン大会の目標を守るようにしたいです。また、子ども会や委員会と、せき任のある学年です。五年間で足りなかったことを、この一年にかけてみようと思います。

古谷恵美子ちゃん(一小・五年)



今年、一年の目標とは、努力だ。この一言しかないと思う。努力とは、力いっぱいつくすこと。または一生けん命やることだ。私は、この努力を、はば広く使いたい。勉強にも、運動にも、この努力という言葉を使い、使いたい。私は、たくさんの言葉があるが、努力という言葉が一番好きだ。そんなこともあるし、それに、今年、自分の、えと、西年なのである。そして、六年にもなるのだ。まさに、この努力とは、私

ぼくは、もうすぐ中学生だ。だから、勉強やスポーツなどを精一杯やるようにして、はずかしくない六年生になり、小学校でのよい思い出を、たくさん作りたいです。



ぼくは、もうすぐ中学生だ。だから、勉強やスポーツなどを精一杯やるようにして、はずかしくない六年生になり、小学校でのよい思い出を、たくさん作りたいです。

若月加奈子ちゃん(一小・五年)



昭和56年は、西年で、私の年である。十二年にべん私の年が来る。私の年と思うだけで、何か心の底からファイトがわいてくるようだ。だから、去年できなかったことや、やれなかったことを、どんどん進んでやれる子どもになりたと思う。

初もうで、今年一年のいいようにがんばりますと、神様に何回も何回も言った。おねがいしただけでは、いかに他人まかせのようだから、私自身が心をひきしめて、がんばらなくてはと思う。五年生の残された三学期、それから、最上級生としての一・二学期を、自分がどれだけあてにむかって、行動できるかたしかめるつもりで、全くの夢ではない。

稲葉三佐子ちゃん(二小・六年)



一九八一年のトリア年。ふさわしい、とてもすがすがしく、良い天気。元旦の朝をむかえ、私は「鳥のように大きくはばたいたら、どんなにいいだろうなあ」と思いました。「勉強だ、運動だ、遊びだ、みんなみんな、ほかの人たちよりもまけないくらいになれるなあ」といつも思っています。そのためには、一日いちにちを、たいせつに、力いっぱい取り組み、まんぞくできるようにしたいと思えます。



今年、僕の年です。十二さいになったら、今までできなかったことを実行しようと思う。

久松陸子さん(川坂)



毎日夢中で過して、やっと子どもが巣立つ日がきた。フッと一息いれて自分を見つめたら、もう五回目のトリア年だった。トリア年は思いがけないことが起こるそうだけれど、私のトリア年を

「三島紀夫の豊饒の海」

この年の政治の焦点は、アメリカとの沖縄返還交渉が始まったことだ。これから一年半後の昭和46年に沖縄は返還された。また、大

音寺潮五郎の「天と地」などがある。私たちが富士川町に目をうつすと――

- ◆ 岩淵吉津川の表流水を水源にして、上水道第一次拡張工事が完了 (4月)
- ◆ 第二中学校プール完成 (7月)
- ◆ 富士川町出身の歌手、金城英夫さんがコロムビアレコードからデビュー (8月)
- ◆ 岩淵駅を富士川駅に改名しよう (9月)
- ◆ 運動開始 (9月)
- ◆ 県道バイパスの開設期成同盟会発足 (11月)
- ◆ 岩淵駅舎改築着工 (12月)

渡辺 清さん(新町)



私は明治42年の生まれだから、西年を七回迎えることになる。この次は八四歳だから生きているかどうか分らない。ともかく今年は鶏の鳴き声のように、結構なよい年にしたいものだ。まず健康。老化を早めないように、頭と体を鍛えよう。鶏が卵を産むように、できるだけ絵を描いて、作品をつくらせたい。

七十二歳の鶏、果して金の卵を産むことができるか。それともシヤボン玉のように、夢が消え失せてしまふのだろうか?

東町の望月さん 読売書展で優秀賞



望月良吉さん (63)

第五回読売書展(読売新聞社主催)の入賞者、入選者が、昨年11月22日に決まり、全国からの応募作一千七百五十九点の中で、当町東町二の望月良吉さん(号・積歩)の作品が、静岡県で初めてという優秀賞に輝きました。同書展は日展、毎日書展と並んで、全国的に知名度の高い書道展の一つです。そこで今月は、望月さんにスポットをあててみました。

自分身にもプラスになるとね。本格的に筆を持ったのは通信教育で書道を書いた昭和34年からですね。そして昭和39年から友井篤村先生の指導を受けるようになって、今でも毎週静岡まで先生の指導を受けに通っていますよ。

——よく字が枯れると言いますが自分の書をどう思いますか？

望月さん 私はまだまだ。根が不器用ですから、今でも一つの作品を仕上げるのに先生の指導を受けて二・三ヵ月かかるんですからね。でも面白いことに、私を知らない人が私の作品を見ると、全部が全部、もっと体格のいい人だと思ってしまう。

——今回入賞された作品は、仕上げるまでにどのくらいの期間がかかりましたか？

望月さん 古典の文字を生かして近代的な感覚にアレンジしようと四字の組み合わせや墨色に工夫しましたので、四ヵ月はゆうにかかりましたね。(出品作品は「瀧翔鳳舞」)

——これからの書に対する心構はどうですか？

望月さん 書も奥が深いですからもっと勉強して内容を充実させていってほしい。仮名の方もやりたいし自分の得意なものを伸ばしていきたいですね。

——ありがとうございます。

書道を始めた切っ掛けは何ですか？

望月さん 昭和10年ころ独学で始めたんです。当時は学校を卒業すると、もう雑誌や新聞など目をとおさない時代だったし、私の仕事も製材所のノコの目立でしたから何か文学に関係ある趣味を持ちたいと思ったんです。そうすれば自

リズムあれこれ

(その十三)

「12分歩行テストによる体力診断」

今さらいうまでもなく「足」ともに枯れる。『足は第二の心臓』

「足とともに考える」といわれるように、歩くことは老化を防ぎ、血液の循環となって血液循環の働きをよくし、脳細胞に目ざめの信号を送って頭の老化予防にもなる一石二鳥ともいえる効能を持っています。

テストを受けるための特別な準備はいりません。歩くことにより体力をつかめます。

(2)費用がかからない

この体力テストでは、特別な用具を必要とせず、十二分間を計る時計と終了を告げる笛、距離が計られたトラックか道路があればよいのです。

(3)短時間で何十人もの測定が同時にできる

体力を調べる仲間が、二人一組(一人が歩き一人が距離を計る)

準備運動を十分行ってから始めましょう。「ヨイ・ドン」の合図で、できるだけ速く歩き続けま

す。決して走らない。両足が地面から離れている瞬間がないように注意してください。十二分目に終りの合図をし、それまで歩いた距離を記録します。歩き方について次の点に注意して行うとよいでしょう。

(4)仲間と測定ができる

体力テストには専門家が必ず必要ですが、歩行テストの測定者は相手があれば十分です。

(5)安全である

健康と体力の維持を図るテストで事故が起きてしまつては、本末転倒です。この点、テストの運動が歩くことですので安全です。

テストの方法

準備運動を十分行ってから始めましょう。「ヨイ・ドン」の合図で、できるだけ速く歩き続けま

す。決して走らない。両足が地面から離れている瞬間がないように注意してください。十二分目に終りの合図をし、それまで歩いた距離を記録します。歩き方について次の点に注意して行うとよいでしょう。

性別	体力区分	年齢				
		18-29	30-39	40-49	50-59	60歳以上
男	1	1299	1239	1179	1119	1059
	2	1300	1240	1180	1120	1060
	3	1489	1429	1369	1309	1249
	4	1490	1430	1370	1310	1250
	5	1679	1619	1559	1499	1439
女	1	1680	1620	1560	1500	1440
	2	1869	1809	1749	1689	1629
	3	1670	1610	1550	1490	1430
	4	1199	1079	1019	959	899
	5	1200	1080	1020	960	900
女	1	1339	1219	1159	1099	1039
	2	1479	1359	1299	1239	1179
	3	1480	1360	1300	1240	1180
	4	1619	1499	1439	1379	1319
	5	1620	1500	1440	1380	1320

※12分間に歩いた距離によって性、年齢別に上表によって体力を五段階に診断できます。

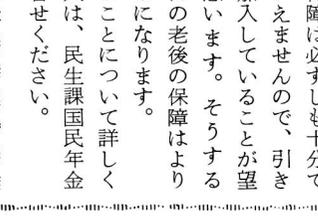
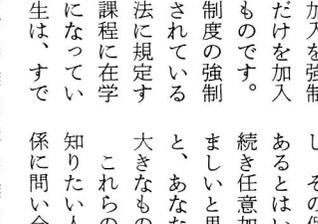
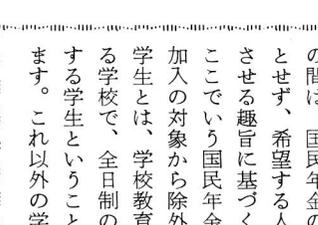
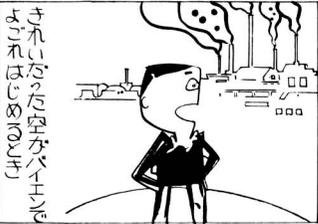
①両腕を「く」の字に曲げてリズムカルに振る

②下肢を前に振り出すようにしてかかとから着地する

③後方で力強く地面をキックする

④あごをしめ、上体を真っすぐにする

(注意) 歩行中に、もしも吐き気頭痛、めまい、胸痛、呼吸困難などを感ずることがあったら、途中で止めることが大切です。



石油の単位 「バレル」は

このところ新聞紙上に「イランイラク戦争のため、両国の原油が輸出困難になり、ためにサウジアラビアが百万バレル増産に踏切った」というように「バレル」という言葉がよく出てくる。一体「バレル」とはどんな意味か。私たち庶民にはどうもピンとこない単位であるが、現代はこれについて少し知っておく必要がある。

今から二百余年前、燃える水が発見され、これを樽に詰め運搬した。この樽を「バレル」という。一バレルは百五十八・九二四ガロンであり一ガロンは五・五合である。ドラム缶が二百ガロンであるから、その約八〇割の量となる。また「バレル」は「バー・ディ」(一日当り)でもある。たとえば、サウジアラビアが八百五十万バレルということは一日当り八百五十万バレルの原油を産出するという意味である。最近の世界の産油量

は、約六千万バレルである。その主なものは、ソ連二千万バレル、米国九百万バレル、サウジアラビア八百五十万バレルなどである。ここでちょっと説明しておきたいことがある。それというの、一ガロンは一バレルは容積の単位であることだ。ところが「バレル」とは重量の単位である。一バレルの容積の原油の重量が一ト

という油を含んだ砂が豊富にある。しかしながら、これも現段階では開発技術が完成しておらず、なかなかソロンにあわないという。こうしてみると、イラン五百万バレルやイラク二百万五百万バレルの大産油国が当分の不輸出は、原油輸入国には相当のいたである。それに加えペルシャ湾のホルムズ海峡が閉ざされたらサウジアラビア、クウェートなどの原油も来なくなり、大変な事態となるのではないかと。

原油は有限であるといわれている。現在、年間約二億七千万トンの原油を輸入している日本にとって現在の経済を維持していく哲理がある。とすれば、それまでに、これに替る何かのエネルギーを開発しなければならぬ。人間の叡智は無限であるから、その内、良いエネルギーの開発も可能ではなからうか。

本通り三・田中又吉

年金の豆知識

(その六)

「二〇歳」成人です

法律上の義務も発生します

Q 1月に二〇歳になった洋裁学校の学生ですが、先日役場から国民年金に強制加入するよう連絡がありました。学生は加入しなくてもよいと思っておりましたが、やはり加入しなければいけませんか？

また、加入して結婚した場合、国民年金は続けなければなりませんか？

A 国民年金では、高校や大学の学生は二〇歳になつても強制加入できるようにしてあります。これらの学生は、一般的にその学校を卒業して会社に就職した場合、厚生年金保険などの職域の年金制度に加入することが予想されるので、それまでの間は、国民年金の加入を強制とせず、希望する人だけを加入させる趣旨に基づくものです。ここでいう国民年金制度の強制加入の対象から除外されている学生とは、学校教育法に規定する学校で、全日制の課程に在学する学生ということになります。これ以外の学生は、すでに

に社会に出て働いている人が多いため、国民年金法上強制加入となっております。したがって洋裁学校の学生は強制加入に該当するわけです。二〇歳から資格を取得しておくよう、すぐに役場民生課国民年金係で手続きをとっておきましょう。もし届出をしないで放っておくと、国民年金の保険料は二年を経過すると時効となり、過去の分を納められなくなり、特に注意してください。

また、あなたが将来サラリーマンと結婚した場合は、その時から国民年金の加入は任意となります。というのは、サラリーマンの奥さんになった場合、夫の厚生年金保険などで一応の年金保障がされるからです。しかし、その保障は必ずしも十分であるとはいえないので、引き続き任意加入していることが望ましいと思います。そうすると、あなたの最後の保障はより大きなものになります。

これらのことについて詳しく知りたい人は、民生課国民年金係に問い合せてください。

戸籍の窓

55・12・1〜12・31届出

(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
相生町	望月 俊輔	長男
上町	植松 智廣	長男
坂下	望月 伸吾	二男
新町本町渡邊	鮎美 勇次	長女
新町本町三改木	早紀 修美	二女
宮町	森 光子	定男 二女
東町一	植松 貴信	信行 長男
〃	渡邊 琢也	善則 長男
日の出町	石川 智子	文雄 長女
南町一	稲川 恵理	秀勝 長女
南町二	小林 朋照	登 長男
〃	深澤 有一	一史 長男
八幡町	村松 祐香	薫 二女

かなしみ

区名	氏名	年齢
清水町	鈴木 政登	猛 長男
〃	神戸百合香	玉清 長女
大北町	若月 愛子	敏 長女
〃	内藤 悦弘	晴雅 二男

おかあさんの

知恵袋

12月4日夜、婦人会館において富士川町商工会青年部と私たち消費生活研究部とで第一回の会合をもった。商工会側から十四店舗、行政側から四人、私たちの会員十五人が出席した。

会合を始めるにあたり、開発課鈴木係長より、町の発展をはかるため、地域に密着した商法が望ましいと、その主旨が述べられ、談合に入る。私たちが先に行った

「町内買い物動向アンケート」を資料に、消費者の動向が食料品は町内、衣料品は富士・富士宮方面へ、また消費者からの要望は、価格・品薄・サービスなどがあることを報告した。商工会側から、たとえば下着の「グンゼ」にも多種

あり価格の面で青ラベルのものは一割安とか、メーカー品でもパーゲン用の商品はクリーニングしてみると縮んでしまう。さらに、浜

名みかんに品質の段階が二十もあることなど、私たち消費者の学ぶところが多かった。その反面、

洗剤やトイレットペーパー、商品の日付標示、日曜日の開店、平常

閉店時間などの問題は、今後まだまだ話し合いが必要であると思われた。またこのような機会があれば業種別の会合を計画したい。

俳句会

△文協俳句会▽

宮町 増井 冬木
憂さも苦も鐘に消されて初詣
初明り四海海なる幸せに

大北町 天野 たま
参道の光りのごとく笹鳴けり
絞り解き彩やわらかき小春かな

南町 法月 幸子
笹鳴きや日向にいでて水光り
雪に積み新酒の樽のたがみどり

南町 影島 智子
鍛だこをほぐす東京一の酉
糶穀火しいなの米も焰に加え

南町 望月 洋子
年の市売り手買い手の国訛り
南町 田辺つぎ子

母の夢に醒めて時雨となりゐたり
旭町 笠井みち子

バスリ刻む神持たぬ身のクリスマス
南町 木伏 八子

日だまればそだけが春梅一輪
南町 宇佐美幸子

大き過ぎるカバンが西日皆負い来
南町 上野みつ子

野分して鴉吹かる墓の上
南町 上野 君江

けんちん汁こと炊きて小半日
本通り 古木喜久恵

夜来の雨野牡丹(のぼたん)いよ
よ紫に 清水町 宇佐美裕子

大根掛け終えて茜をまぶしめり

一里塚



新しい年を迎えると、だれもがそうするように、私も今年こそは何かを期待し、何か新しいことを実行してみようなどと、生活の中に区切りをつけようとする。ところが、いざ現実に行くと、どこからようとする段になると、どこから何を手がかりにしているのかわからず、結局は「いいや明日からやろう、来週になったら始めよう」と、予定ばかりが先に立って、何もしないで終ってしまいか、俗に言う「三日坊主」になってしまいう可能性が大である。

それが、家計簿を毎日記帳することだったり、健康維持のために運動することだったり、考えてみれば何でもないことでも、毎日続けるとなると、実に大変なものである。心のどこかに存在する「あまえ」に妥協し「まあこんなものだろう」と、簡単に自分自身納得して、途中でストップしてしまうのが常であるし、毎年の繰返しのようだ。また、それと同じように困ったことだとか、わからない問題にぶつかった時に弱気になってしま、そのことからのがれるのに一心で、考えるのをやめてしまったりして、何とか平穩無事な一生であればと思ってしまう。これは老化の現象かも？

平穩無事があったりまえのこのように生きている毎日の中で、あまり自分という存在について考えたことはないが、一年の計を立てる前に、去年を振り返ることも必要だし、自分はダメな人間ではないかと、自分自身を反省することも必要かもしれない。(田村)

編集後記

今年こそはうんと頑張るぞ、そうしてこうしてああもすると思いつながら、大晦日になってしまった昭和55年。それなら今年、昔から縁起がよいとされている「一富士、二タカ、三ナスビ」の中からどれでもいいから初夢に見てやれと思ったのだが、その期待も外れもう1月10日になってしまった。

こうなれば、昔は暦の上で春が始まる立春の明け方の夢が初夢とされた説もあるそうだから、2月4日には必ず見ようと思う。まだ見ない人も一緒にどうぞ。